

第 2 期宮城県スポーツ推進計画について

1 計画の概要（資料 2 参照）

- （1）策定根拠 スポーツ基本法（平成二十三年法律第七十八号）第 10 条
- （2）内 容 本県スポーツのあるべき姿や目標を定め、その実現に向けて取り組むべき方向性を明らかにするもの
- （3）計画期間 令和 5 年～令和 14 年（10 年間）

2 令和 6 年度アクションプランの内容について（資料 3 参照）

（1）事業全体について

- ① 事業数 136 事業（再掲事業除く）
- ② 令和 5 年度決算額 3,928,564 千円（県事業のみ）
- ③ 令和 6 年度予算額 5,145,225 千円（県事業のみ）
- ④ 実施状況
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響による未実施事業はなし。
 - ・「該当する取組」に「●」が付いていない項目については、引き続き取り組むべき事業内容について検討していく。

（2）各方針の実施事業について

①基本方針 1「スポーツによる健康増進」

（イ）みやぎスポーツ DAY（施策 1・2・3）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 1,700 千円
- ・目的 全ての県民が目的・好みに応じてスポーツを楽しめるスポーツ機会を提供する。

会場の様子(グランディ・21)



忍者ランド



卓球バレー

(ロ) 総合型地域スポーツクラブと連携した子育て支援事業（施策1・2）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 15,367 千円
- ・委託先 いしのまき総合スポーツクラブ、多賀城市民スポーツクラブ
南光台東エンジョイ倶楽部、むらたスポーツクラブ
- ・目的 多様なスポーツ需要に対応する「総合型地域スポーツクラブ」において、子育て支援プログラムをモデル事業として推進し、当該事業の定着・普及により子育てしやすい地域づくりを目指す。



子育て女性のリフレッシュ機会創出事業
(いしのまき)



放課後児童のスポーツ機会創出事業
(南光台東)

②基本方針2「スポーツによるまちづくり」

(ハ) 総合型地域スポーツクラブ育成・支援（施策1）

- ・実施主体 宮城県スポーツ協会
- ・目的 「総合型地域スポーツクラブ」の普及に向けた取り組みを支援するため、市町村体育・スポーツ協会が企画運営する各種大会、研修会等に要する経費を助成するほか、クラブの設立・運営の助言を行う。

(ニ) スポーツ人材等確保対策事業（施策1）【新規】

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 7,000 千円
- ・委託先 株式会社スポーツフィールド
- ・目的 県内での就職を希望するアスリートや指導者と雇用したい企業にマッチングの機会を提供し、アスリート達の県内企業への就職・定着と地域スポーツへの貢献を促進する。

つなぐ、想い。スポーツの力で

**みやぎアスリート
キャリアサポート**

宮城県で活動したいアスリートと指導者の方を
サポートするプロジェクトです！

マッチングイベント開催 アスリート就職採用企業と連携企画ができる企業数種のイベントを開催！スポーツの経験を活かしたキャリアパスについてのアドバイスや企業が求める人材像について知る事ができます。	競技と仕事の両立を継続支援 一人ひとりのニーズに合わせ、キャリアアドバイザーがマンツーマンで支援。競技後決定的なキャリアアッププログラムの開発やアスリート就業の就業先を支援しています。	U・Iターン希望も登録可能 U・Iターン希望する方々のサポート体制が全国13か所あり、地域ごとにキャリアアドバイザーが複数配置。思ったことがあればいつでも登録が可能です。
--	--	---

競技継続×キャリア
未来を掴むキャリア支援がここにあります。

私たちが競技・仕事の両面をマンツーマンで支援いたします！
 それぞれの目標やニーズに合わせてカスタマイズプランを提供し、選手の間で大きな成果を上げられるようサポートいたします。経験豊富なキャリアアドバイザーと共に、スキル向上やキャリアアップを目指し、自信を持って未来に挑戦してください。私たちの専任チームが、あなたの成長と成功を全力で応援します！

主催：宮城県 運営：株式会社スポーツフィールド（スポーツナビアスリート）
 ☎ 022-216-2681 早朝：05-151-05（夜間相談可）
 E-mail: miyagi_athletes_jp@sports-f.co.jp
 住所：宮城県仙台市青葉区中央一丁目1番1号
 大塚支店仙台市青葉区中央1丁目1番1号
 みやぎアスリートキャリアサポート

③基本方針3「スポーツによる共生社会の実現」

(ホ)障害スポーツ・レクリエーション事業(各種障害者スポーツ大会の開催)(施策1)

- ・実施主体 障害福祉課
- ・予算額 4,757千円
- ・目的 障害者の特性に応じたスポーツ技術やルール、心構え等の講習・実技を通じ、スポーツに親しむ機会を提供する(宮城県・仙台市障害者スポーツ大会の開催等)



陸上競技大会



アーチェリー競技大会

【参考】「障害者のためのスポーツ施設利用受入マニュアル(仮)」の策定について

令和6年度からワーキンググループを設置し、策定作業に着手

第1回「障害者のためのスポーツ施設利用受入マニュアル(仮)」策定WG

マニュアル作成の概要

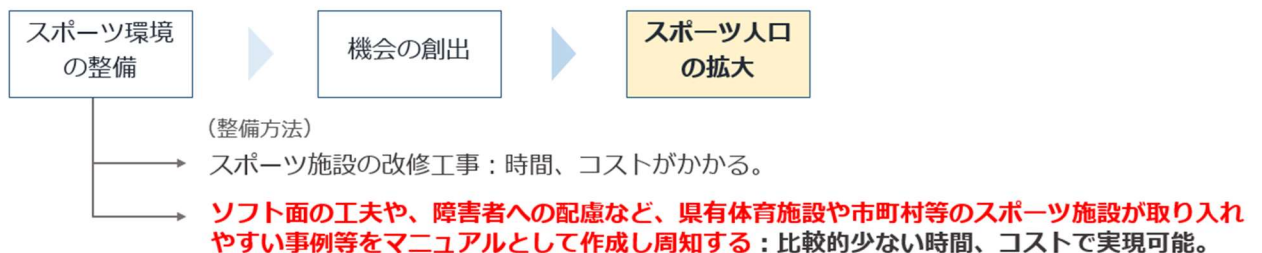
経過

- 国では、平成28年4月「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、障害を理由に不当な差別的扱いをすることを禁止し、障害者が日常生活や社会生活を送る上での障壁を取り除くために必要な合理的配慮を求めている。令和3年に法改正となり、**令和6年4月1日から合理的配慮の義務化がされることになった。**
- 令和4年3月には、スポーツ基本法をもとに国の「第3期スポーツ基本計画」が策定され、障害者スポーツの推進について言及している。
- 本県では国の施策を受け、平成30年に「みやぎ障害者プラン」を策定。また、令和5年3月にはスポーツ振興課において「第2期宮城県スポーツ推進計画」を作成し公表している。

✓「第2期宮城県スポーツ推進計画」基本方針3スポーツによる共生社会の実現 施策1障害者スポーツの環境整備と普及促進
県は、県有体育施設のバリアフリー化を推進するほか、公共スポーツ施設の管理者に対して、障害者が利用する際のサポート方法や留意点を周知するなど、障害者が身近な場所でスポーツ活動に取り組みやすくなるよう環境整備を行います。

目的

障害を持つ方々が、いつでも、どこでも安全安心にスポーツに親しむことができる環境を整え、スポーツに親しむ機会を増やすことが、障害を持つ方々の生きがいにもなり、ひいては障害者スポーツ人口の裾野拡大にも繋がる。



④基本方針 4「スポーツによる感動の創出と誇りの醸成」

(ヘ) 事業名 スポーツ選手強化対策事業（施策 1）

- ・事業主体 スポーツ振興課
- ・予算額 136,540 千円
- ・目的 スポーツ振興と競技力及びスポーツ水準の向上を図るため、宮城県スポーツ協会と連携し、競技団体の強化事業に対する支援やジュニア選手の育成等を行う。

令和 6 年度ジュニアトップアスリートアカデミー



身体能力育成プログラム
「バランス・アライメント」



知的能力開発プログラム
「リーダーとは」

(ト) オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー継承事業（施策 1・3）

- ・実施主体 スポーツ振興課
- ・予算額 7,700 千円
- ・目的 「復興五輪」として位置づけられた東京 2020 大会を契機として、オリ・パラアスリートとの交流機会を提供するほか、東京都及び被災 3 県の連携により、スポーツを通じた子どもの健康増進及び震災記憶・教訓の伝承を図る。

東京都・被災 3 県に
よるサッカーキャンプ
(女川スタジアム)



3 推進計画の達成状況について

資料 4 のとおり

4 計画見直しに係る県民アンケート調査時期の変更について

計画（55 ページ）では、令和 7 年度に県民アンケート調査を実施することとしていたが、令和 9 年度に見直しを行うことを考慮すると、より直近の令和 8 年度に調査を実施することが適当と考えられることから、実施時期を変更することとしたい。